

ピア・サポーターに関する 取組について

平成24年9月5日

健康局がん対策・健康増進課

ピア・サポーターの育成について

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業

(事業概要)

がん患者やその家族が行うピアサポーターなどの相談員に対し、相談事業に関する基本的なスキルを身につけるための研修を行うにあたり、全国における相談事業の均てん化を図るため、研修プログラムの策定を実施する。

(創設年度)

平成23年度

(予算)

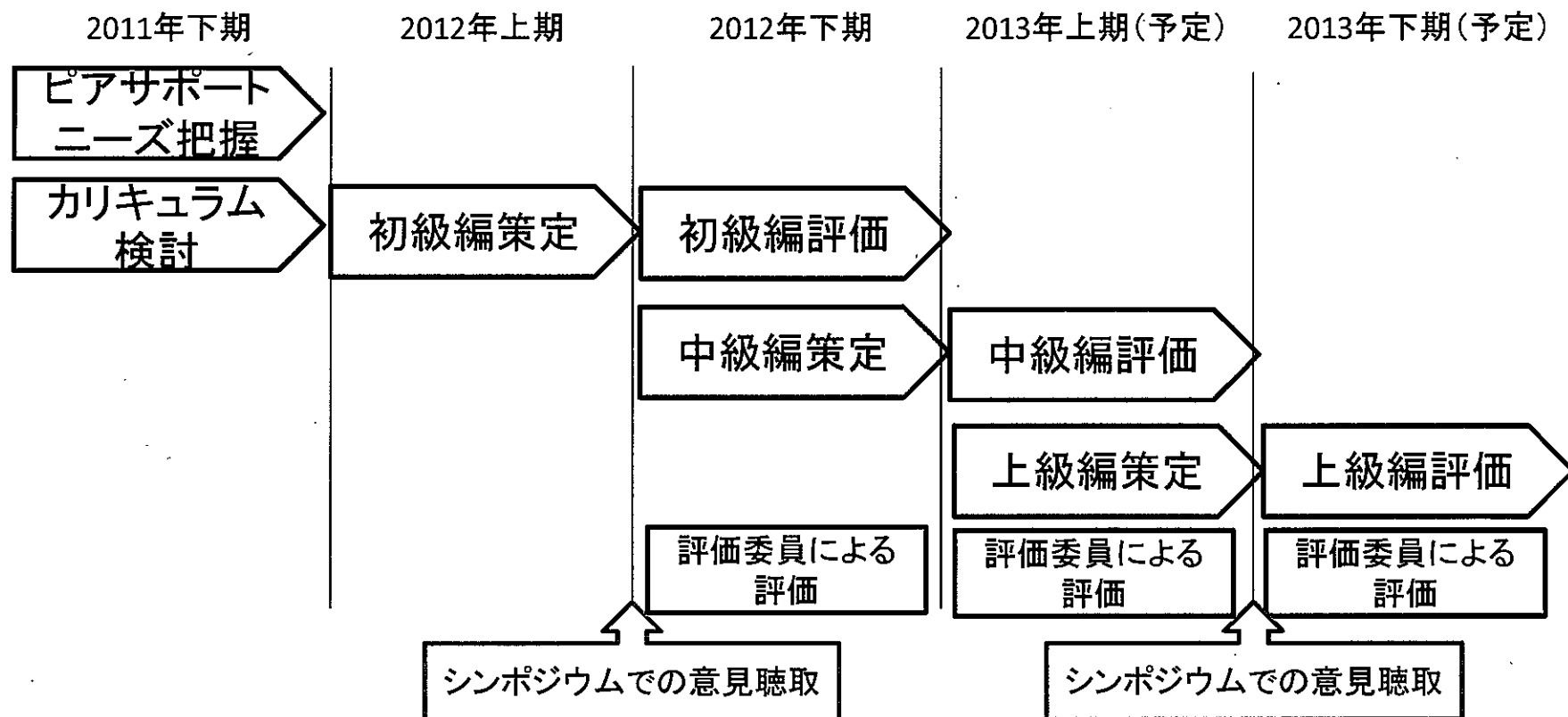
平成23年度 約4900万円

平成24年度 約4900万円

(委託先)

公益財団法人日本対がん協会

がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業 スケジュールと内容



	初級編	中級編	上級編
対象と内容	初めて学ぶ方を対象に、ピアサポートに関する基本的な内容や、守るべき事柄について理解しやすい内容とする。	初級を学ばれた方や、同程度の経験を有する方を対象に、より踏み込んだ内容や、がんサロン等におけるファシリテートについても触れる内容とする。	初級・中級を学ばれた方や、同程度の経験を有する方を対象に、ピアサポーターのスーパーバイズや、ピアサポーター研修の指導にあたって必要な内容とする。
教材	テキストやDVD、研修の手引き等を作成する。Webによる素材配布や、eラーニングの活用も考慮する。		

がん総合相談研修プログラム策定事業 研修プログラム(初級編)スケジュール

時期	内容
8月28日(火)～ 9月18日(火) 【第1期応募】	<p>□ 研修プログラム(テキスト及び研修用DVD)初級編β版(試行版)研修実施先の公募</p> <p> <公募方法></p> <p>◎ 弊会HPに8月28日に掲載： 募集要項および応募用紙</p> <p>◎ 郵送で案内：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・397がん診療連携拠点病院がん相談担当者宛 ・47都道府県のがん相談担当主管宛 ・日本対がん協会グループや患者団体などにも郵送予定(8月末～) <p>□ 運営委員会及び事務局で応募のあった団体等から研修先を選考し、実施のための「研修の手引き」とともに、テキストや研修用DVDなどを送付。</p>
9月25日(火)～ 10月9日(火) 【第2期応募】	<p>□ 研修プログラム(テキスト及び研修用DVD)初級編β版(試行版)研修実施先の公募</p>
9月11日(火)	<p>□ がん総合相談研修プログラム評価委員会 →研修テキスト及び研修用DVDβ版の評価</p>
9月30日(日)	<p>□ 東京・大阪でシンポジウム開催 →参加者からの意見集約</p>
12月10日(月)	<p>□ 各研修実施団体における研修実施の終了</p>
12月17日(月)	<p>□ 各研修実施団体より「研修会報告書」および「研修プログラムに対する意見」の提出</p>
12月中	<p>□ 各研修実施団体より提出された「研修会報告書」および「研修プログラムに対する意見」、評価委員会およびシンポジウムで提出された「意見」をもとに、運営委員会において研修プログラム(テキストおよびDVD)の改善案を討議。</p>
平成25年1～2月	<p>□ 研修プログラム(テキスト及び研修用DVD)初級編の正式版策定</p>

ピア・サポーター育成事業等に関する都道府県の取組

都道府県名	事業名	事業内容	国の補助	予算額(千円)	実施主体
北海道	ピアサポート等推進事業	拠点病院が未整備の2次医療圏におけるがん経験者によるがん患者等への相談支援の実施やがん患者同士が語り合う場であるサロンの提供等	有	9,600	補助先
青森	がん患者団体等活性化支援事業	がん患者団体等の活性化を図るためのフォーラムを開催する。また、各患者会代表者や医療関係者等による活動検討会を設置する。	無	2,061	県
宮城	地域統括相談支援センター事業	相談支援、ピアサポーター育成、研修会の開催等	有	4,978	委託先
	がん患者・家族支援機能強化事業	患者会立ち上げに向けた情報提供、支援、指導	有	520	委託先
	がん患者・家族支援対策推進事業	各地域で在宅療養支援を適切に行うため地域連絡会議及び研修会を実施	有	959	県
秋田	がん患者団体活動支援事業	がん患者団体等が行うがんサロンの普及、ピアサポート研修、普及啓発イベント開催、情報提供などの取組に対し補助	有	1,548	秋田県がん患者団体連絡協議会
茨城	がん患者支援推進事業	県内4か所の地域がんセンターに、がん経験者相談員によるピアサポート窓口の開設及び研修会の開催	無	2,832	茨城県看護協会
東京	がん患者療養支援事業	がん体験者等との連携による相談支援事業(ピアカウンセリング)を実施	無	1,296	拠点病院
神奈川	がん体験者による、がん患者・家族のためのピアサポート事業	拠点病院2か所で面接相談、病院以外の場所での電話(来所)相談をNPO法人と協働で実施	無	3,170	NPO法人がん患者ネットワークジャパン
千葉	千葉県ピア・サポート事業	県が養成したピア・サポーターによる相談会(サロン)の実施。新規養成研修、フォローアップ研修の実施。(地域統括相談支援センター事業の中で実施)	有	6,500 の一部	委託先
群馬	がんのピアサポーター養成事業	がん患者、家族を中心としたピアサポーターの養成	有	500	県
富山	富山型がん診療体制整備事業(がん患者家族の療養支援体制整備事業)	県内の乳がん患者会等を対象に、講習会や意見交換会等を開催。	有	400	県
山梨	山梨県がん患者サポートセンター整備事業	がん患者及び家族が、医療面、療養面、心理面の相談をワンストップで受けられる体制の整備	有	1,745	日本対がん協会山梨県支部(山梨県健康管理事業団)
	がん患者ピアサポート研修事業	ピアサポートに関心のある患者等に研修会を行い、ピアサポーターを養成することで、患者同士による相談支援体制の推進を図る。	有	213	県
岐阜	がんピアサポーター養成事業	がん経験者ががん患者を支援することができるよう、がんピアサポーターを養成	有	9,602	県・委託先
静岡	出張よろず相談	医師、看護師等が地域に出向き、患者・家族からのがんに関するあらゆる相談に対応するための相談会を実施	有	985	県立静岡がんセンター
	患者・家族向け学習会	患者・家族に対し、がんの部位別に予防及び症状緩和のための療養支援等の講座の開催	有	898	県立静岡がんセンター
滋賀	ピアカウンセラー養成事業	がん患者及び家族が、医療面、療養面、心理面の相談をワンストップで受けられる体制の整備その家族への相談体制の充実を図るため、ピアカウンセラー養成に対して助成する。	有	600	補助先
	がんサロン事業	がん患者や家族が集まり自分の悩みや相談をし、また仲間作りを行う場の開催。	有	165	県

都道府県名	事業名	事業内容	国の補助	予算額(千円)	実施主体
奈良	がん患者支援及び相談・情報提供事業 ①ピアサポーター養成事業 ②相談支援強化事業	①ピアサポータースキルアップ研修 ②拠点病院のない医療圏の保健所で、がん患者サロン、相談窓口を開設	有	1,342	県
鳥取	がん患者団体活動促進支援事業	患者団体の活動を促進するため患者団体を対象とした研修、意見交換会を開催 ①ピアサポート研修会の開催、②患者団対リーダー意見交換会の開催	有	405	県
島根	がん患者団体ネットワーク支援事業	患者が他の患者の相談支援等を行っているがんサロン及びがん患者団体との意見交換会・交流会の開催。・がん患者団対、県、がん診療連携拠点病院との意見交換会の開催	無	1,659	県
	がん相談員等資質向上事業	①ピアサポーター養成研修の実施 ②がん相談員研修会の実施	有	7,000	県・委託先
岡山	がん患者のQOL維持向上支援事業	がん患者ネットワーク会議の開催、がん患者会への専門家派遣事業	有	1,828	県
広島	がん患者・家族支援事業	患者団体の協力により、がん経験者が患者等の不安や悩みへの相談に応じる「がん患者フレンドコール」を開設する。「広島がんネット」(広島県の癌全般の情報を提供するホームページ)を活用し、がん患者・家族や県民に対し、がんに関する様々な情報を提供する。	有	3,400	「フレンドコール」 委託先患者団体 「がんネット」 県
山口	患者会との連携事業	未受診者に対する普及啓発や受診勧奨を促進するため、患者会と連携し、がん経験者を講師とする講演会や、がん経験者が普及啓発や相談支援を行うための研修会を開催する。	無	571	県
徳島	ピアカウンセラー養成事業	がん患者が自らの経験を活かして、相談支援やカウンセリングのサポートができるようなピアサポーターを養成する研修会を行う。	有	200	NPO法人AWA がん対策募金
愛媛	町なかがん患者サロン運営事業	がん患者団体が実施する、中心市街地におけるがん患者サロンの設置、運営事業等に助成する。	有	6,290	NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会
	がん相談・情報提供支援事業	ピアサポーター養成研修の開催、拠点病院等で開催されるがん患者サロンへのピアサポーターの派遣、患者・家族の体験談を基にした質問事例集の作成やがんに関する情報の活用方法に関するセミナー開催などのピア・サポート体制の整備。	有	2,070	委託先
佐賀	がんサロン運営事業	がん患者が集う場を開設	有	6,825	NPO法人クラブサポート
熊本	がん患者等QOL向上支援事業	がんサロンリーダー・サポーター養成研修の開催、ピアサポーターの派遣	有	3,412	県
宮崎	がんカウンセラー養成事業	患者サポートのためのファシリテーター養成	有	316	委託先
鹿児島	がん患者相談支援体制整備	がん患者及び家族への支援を、がん経験者が行う体制を整備する。	有	572	委託先
沖縄	がん医療連携体制推進事業 (地域統括相談支援センター事業)	相談支援体制の強化のため、日本対がん協会が作成するピアサポーター研修プログラムを用いて、がん患者等関係者を対象とした研修会を実施する。また、がん罹患経験を活用した相談支援を行う。	有	11,000	委託先
	がん医療連携体制推進事業 (がん患者支援モデル事業)	がん情報提供体制の強化を図るほか、患者関係者との協働の取組みを行うことにより、地域の患者支援体制の自主的、主体的活動を推進する。	有	10,760	委託先

ピア・サポーター育成事業等に関して良かった点

拠点病院によると、ピア・サポーターが患者と同じような立場のため、医師、看護師よりも相談しやすいといった状況があったとのこと。

患者団体支援のため、県の後援や広報紙への掲載を行っている。患者団体からは「はげみになる」と評価をいただいている。

県の研修を受けたピアサポーターが拠点病院で相談業務に従事している。
県の研修を受けたピアサポーターにより相談会(サロン)を実施しており、できるだけ経験部位が重ならないようにしているため、自らの経験が語りやすく、相談に訪れた人にも好評である。

患者団体の努力・工夫により質の高いピアサポーターの養成がなされ、全2次医療圏域でがん患者サロンが開催できるようになった。

患者団体が自主的に患者サロン世話人養成講座を開催している。受講者の中には、サロンの世話人として活躍されている方もおられ、ある程度うまくいっている。

ピアサポート研修の内容や開催場所等について、がん患者会やサロン世話人と、事前に意見交換して実施するため、研修参加者の満足度が高かった。

拠点病院で開催されているがん患者サロンへピア・サポーターを派遣し、サロン運営に参加することで、より患者の目線に立った相談支援を実施することができた。

患者サポートのためのファシリテーター養成の場を設定するにより、患者と医療機関との意思疎通が図られた。

ピア・サポーター育成事業等に関する課題

拠点病院からの情報によると、ピアサポート関係で使用できるスペースが限られ、活動に支障が生じたことがあったとのこと。
ピアサポート研修プログラムもない中、手探りで進めている状況だが、研修受講者からは継続的かつ実質的な研修を望む声が多く、それにどこまで対応できるか不安な面もある。ピアサポーターを育成する指導者の養成が課題である。
ピアサポート研修会の受講者を集めるのが難しい。
相談員の質の確保が難しい。 利用実績が伸びない。
他県の好事例等について教えて欲しい。
国で実施しているピアサポーター養成研修のプログラムがなかなか示されないため、先行して各県独自の取組でピアサポーター養成事業が開始されていると思われる。本アンケート調査の集計結果の提供などを含めて、各自治体の取組に対する支援をお願いしたい。
ピアサポーターの拠点病院への派遣については、病院側で外部の者を受け入れることに抵抗があるため、あまり進んでいない。
相談内容に応じた他部署・他機関(相談支援センター、医療従事者、地域における患者団体等)との棲み分けが難しいのではないかと。
ピアサポート研修事業の新規受講者が減少している。
患者団体の支援については、公平性の観点から、支援する患者団体の選定が難しいと思われる。
研修実施がボランティアベースで活動している患者団体の負担になっている。 ピアサポーターが体調を崩されるなどして活動できなくなるケースがある。
講義内容については、あまり講義を多くしてハードルを上げず、既に世話人として活躍している方の話を聞く方が「自分にもできそうだ」としてもらえて良いのではないかと。受講者は集まりにくいので、広報紙等を活用している。
参加者の固定化
県内にはNPO等の患者団体がいないため、拠点病院で活動を行ってもらうことを想定しているが、ピアサポーターの必要性を医療従事者に理解してもらうのに苦労している。拠点病院の指定要件にピアサポートを義務付けるなど、相談支援センターの機能としての位置付けを検討してほしい。
相談員の研修や精神的負担へのフォロー等ができておらず、今後の対応が課題となっている。 ピアサポート人材の採用・育成ノウハウが無いことから、今後、ピアサポートを充実させる上で、その手法等が課題と考えている。
H23年度にピアカウンセラーの養成に向けた研修を実施したが、研修終了後の活躍する場所の確保が困難であった。
研修受講者が、毎年、特定の者に限定されている。
研修受講希望者が少ない。
ピアサポートについては、質をどう担保するのが課題。
患者団体相互の情報交換、交流が可能となる場を設定するよう意見があった。
研修受講者については、従来から活動している患者団体からの参加が多いが、それぞれの経験・相談技術に差があるため、研修会の内容について不満が寄せられることもある。

ピア・サポーターの充実に向けた論点案

- ・ピア・サポーターに期待される役割は何か。
- ・研修プログラムを充実させるためには何が必要か。
- ・研修参加者を確保するため、どのような工夫があるか。
- ・研修修了後の実務経験の場をどのように確保するか。
- ・研修修了後にどのようなフォローアップが必要か。
- ・患者団体に期待される役割は何か。
- ・医療従事者に期待される役割は何か。
- ・まず、早急に解決すべき課題は何か。